

新体制決定

令和7年5月16日、令和7年第3回芳賀町議会臨時会が招集され、会期を1日として開催されました。選挙により第42代議長、第43代副議長を選出しました。また、常任委員などの選任も行われ、議会の構成が決定しました。

議長就任のごあいさつ

このたび、議長を務めさせていただくことになりました。

日頃より、皆さまからのご支援に心より感謝申し上げますと共に、本職の責任の重さにあらためて身の引き締まる思いです。

さて、町においては昨年より第7次振興計画が策定され「幸せを実現できるまち」を目指し各種事業が進められております。計画では令和17年の目標人口を15,000人としており、これら達成に向けては、新たな住環境の提供と合わせて毎年増えつつある空き家の再利用を進め、移住者の増加を目指すとしていますが、選ばれる町となるには暮らしやすさが重要となり、そのためにも町内全域からLRTトランジットセンターや祖母井市街地への公共交通の整備が必要となります。今年度からそれらに向けた各種実証事業が始まります。町民の皆さまが利用しやすいものとなるよう、議会といたしましても執行部と連携し取り組みを進めてまいります。

LRT開通による交流人口増加、町知名度のアップを好機ととらえ、さらなる町発展に向けて執行部、議員各位の協力を得ながら取り組んでまいります。

しかし、まちづくりは住民の皆さまが共に考え取り組む事が必要となりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

「安全で安心に暮らせるまち」を目指し、円滑な議会運営を進めてまいりたいと思いますので、町民の皆さま方の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。



第四十二代議長
山口 菊一郎
72歳

副議長就任にあたって

このたび、議員の皆さまのご推挙により副議長に就任させていただきました。

その責務の重さに身が引き締まる思いではありますが、副議長の職務を遂行すると共に、議長の補佐役として町政の推進および議会の公正かつ円滑な運営に務めてまいりたいと思います。

LRTが開業し今年8月で2年を迎え、開業前の予測を大きく上回るなど、地域に定着し、芳賀町においては、公共交通の充実と整備を目指している状況です。

それに伴い、人流・移住・定住に波及し、町の活発化および産業を大きく飛躍させるものと確信しています。農業においては、優良農地を目指し土地改良事業が進行中であり、工業においては、第2工業団地が完了し優良企業が誘致され、輝かしい未来を創造できる芳賀町です。

芳賀町を取り巻く環境は毎年変化しており、少子高齢化社会に対応した、医療・福祉・教育の充実など、議会の役割・責務が拡大し、今まで以上に責任ある議会活動が求められています。二代表制の下、議会には行政に対する監視機能をしっかりと果たすことはもちろんのこと、多様な町民の意見を聞き、それを地域の課題として捉え、町民全体の福祉の向上と町政発展のため、政策などを提案する機能も大切であり、町民の皆さまの望む方向性を的確に把握し、諸問題の解決に向け努力していききたいと思います。

今後とも、皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げまして、副議長就任のあいさつとさせていただきます。



第四十三代副議長
岡田 年弘
73歳



監査委員

有坂 隆志 (2期67歳)

監査委員(議会選出)は 有坂 隆志議員

町長から提出された、監査委員(議会選出)の選任が同意され、有坂 隆志議員(2期・67歳)が監査委員に選任されました。

代表監査委員(樋田貞夫氏)と共に、町の歳入、歳出などの予算が適正に執行されているかなど、町の財務に関する事務の調査や監査を行います。

総務常任委員会



委員長 中村由美子
副委員長 石川 保
委員 杉田貞一郎
委員 山口菊一郎

所管 総務課・企画課・税務課・会計課・議会事務局・監査委員・選挙管理委員会の所管に関する事務

教育民生常任委員会



委員長 有坂 隆志
副委員長 市川 司
委員 小林 信二
委員 岡田 年弘

所管 住民課・健康福祉課・環境課・子育て支援課・学校教育課・生涯学習課の所管に関する事務

産業建設常任委員会



委員長 藤沼 英之
副委員長 黒崎 浩一
委員 小林 一男
委員 古谷 康典

所管 農政課・商工観光課・建設課・都市計画課の所管に関する事務

議会広報常任委員会



委員長 黒崎 浩一
副委員長 市川 司
委員 石川 保
委員 山口菊一郎
委員 岡田 年弘

所管 議会広報の編集・発行に関する事務

議会運営委員会



委員長 杉田貞一郎 副委員長 石川 保
委員 小林 一男 委員 有坂 隆志
委員 中村由美子 委員 黒崎 浩一
委員 藤沼 英之
助言者： 議長、副議長

所管 円滑な議会運営を図るための調査・審議